

東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバル 燕市採火式を開催

– 鎌起銅器製作で用いる炉から採火した聖火を市役所に展示します –

燕市では、東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバルの採火式を 8 月 15 日に燕市産業史料館で開催します。採火式では、200 年以上受け継がれてきた燕の伝統工芸である鎌起銅器を、重要無形文化財保持者（人間国宝）玉川宣夫氏^{たまがわのりお}が製作実演し、鎌起銅器の製作過程で重要な“焼きなまし”で生じた火をパラアスリート（陸上競技）の坂田由香利氏^{さかた ゆかり}が聖火ランタンに移します。採火した火は「燕市の火」として、翌日 16 日に燕市役所エントランスにて展示します。

【燕市採火式の概要】

1. 開催日：8 月 15 日（日）午後 6 時 30 分～
2. 場 所：燕市産業史料館 屋外交流広場（燕市大曲 4330-1）
※荒天時は体験工房館で実施
3. 内 容：人間国宝・玉川宣夫氏による鎌起銅器の製作実演。
パラアスリート（陸上競技）坂田由香利氏による
聖火ランタンへの採火。
4. その他：新型コロナウイルス感染症対策として、関係者
及び報道機関のみで開催します。また、採火式
の様子は後日動画で公開します。



▲“焼きなまし”的イメージ

【「燕市の火」展示の概要】

1. 開催日：8 月 16 日（月）午前 8 時 30 分～ 午後 1 時
2. 場 所：燕市役所 エントランスホール
3. 入 場：無料でどなたでも見学できます。
4. その他：展示後は県内各自治体で採火した火を一つに統合する集火式が新潟市で開催され、燕市からは坂田氏が「燕市の火」を送り届けます。



東京2020パラリンピック聖火フェスティバル開催
2021年8月15日(日)～8月16日(月)燕市

【採火式】8月15日(日) 18:30～19:15
燕市産業史料館 関係者のみで開催

【展示】8月16日(月) 8:30～13:00
燕市役所エントランスホール



坂田由香利（燕市出身）

高校 3 年生からパラ陸上を始め、H20～H29 の計 10 回、全国障害者スポーツ大会に出場。

【成績】50m 優勝 4 回 2 位 5 回 3 位 1 回

スラローム 優勝 4 回 2 位 3 回 3 位 3 回 ※燕大賞に過去 3 回受賞

本件についてのお問い合わせ先
教育委員会 社会教育課：田巻
電 話：0256-77-8368（直通）